

お知らせ:次回発信日は12月14日週報(予定)

Jミルクが2023年9月29日に公表した「需給見通し(※2023年8月末実績)」の予測値と実績(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。
「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。 発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～家庭内需要は引き続き低調に推移～ 飲用消費が低迷する冬場に向けて一体的に需要拡大を～」

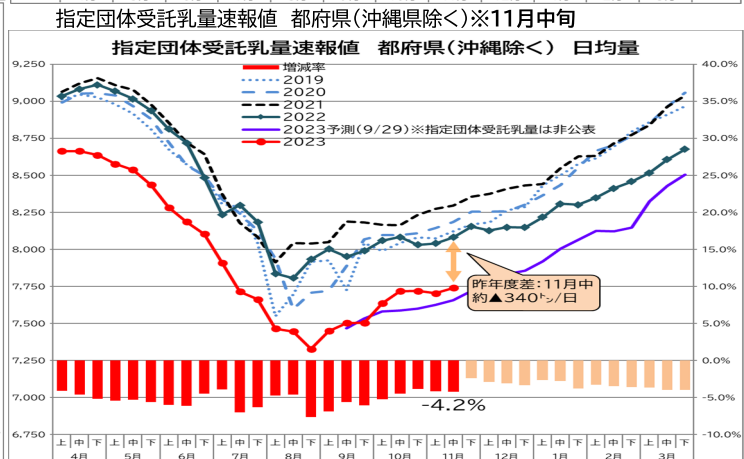
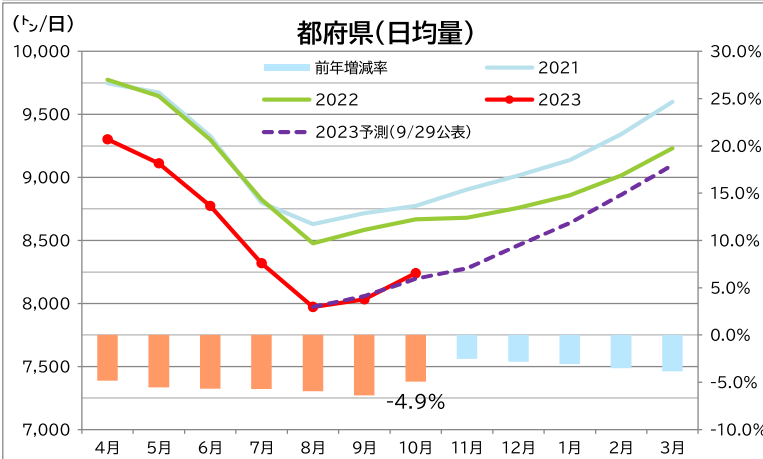
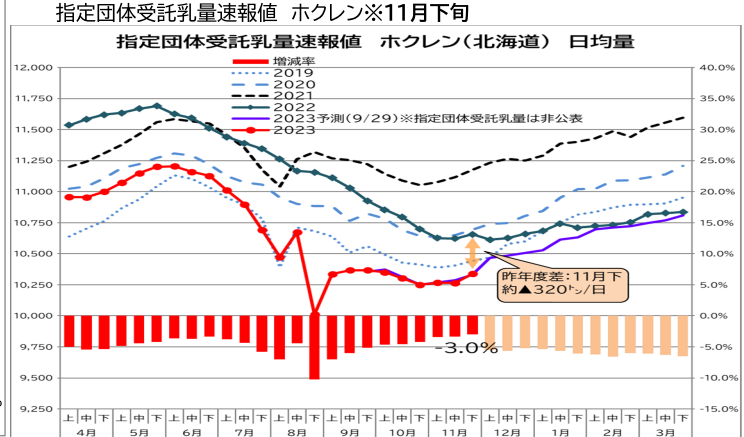
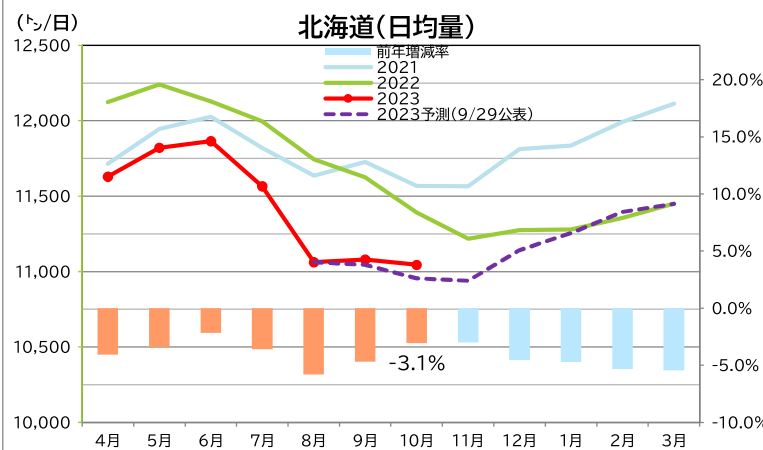
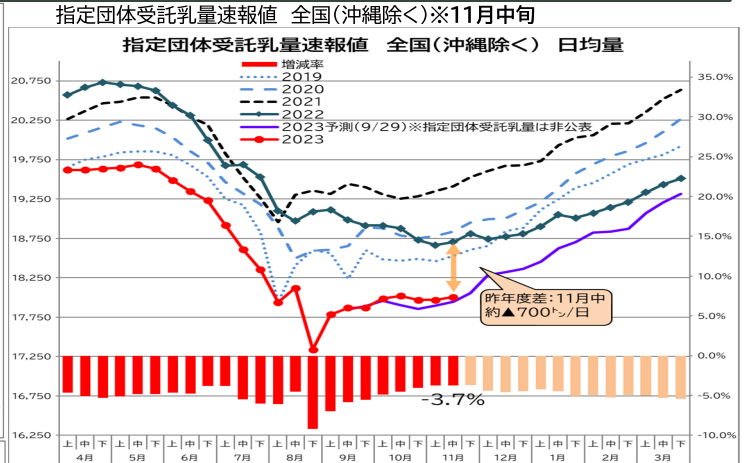
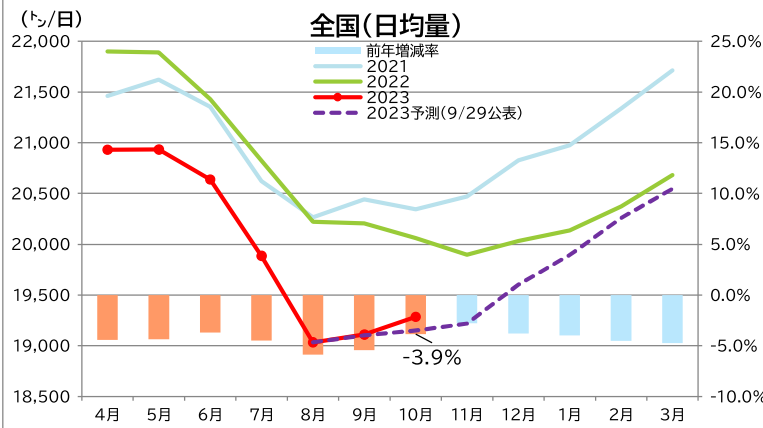
- ・10月の生乳需給実績について、飲用等向は前年を下回る▲3.0%となったが、生乳生産量は全国で▲3.8%となり、乳製品向は引き続き前年を下回る▲4.9%となった。全国指定団体受託乳量(速報)では、生産抑制の効果により前年下期から生産量が大きく減少した反動によって減少率は縮小しており、今年度の粗飼料の出来や搾乳牛頭数の予測から推定すると、今後減少率はさらに縮小していくものと考えられる。なお、北海道では、11月の1頭当たり個体乳量が前年比▲0.3%まで回復している。
- ・脱脂粉乳とバターの需給は、両品目ともに回り量よりも乳製品向仕向量減少に伴う脱脂粉乳とバターの生産量減少が大きく、在庫量は前月よりも減少した。なお、脱脂粉乳は全国協調の在庫削減対策が回り量を一定程度押し上げている効果も挙げられる。バターは、前年を下回る回り量となっているものの、依然として国内旅行者・インバウンドは増加しており、業務用を中心に需要は堅調に推移しているが、12月には取引乳価引き上げに伴い製品価格改定となるため、消費動向に注視しつつ需要に対応した安定供給に努めることが重要となる。
- ・11/27週の牛乳類の販売動向は、前週(11/20週)と比較して、牛乳、加工乳は微増、成分調整牛乳、乳飲料は微減となった。牛乳は製品価格改定となった昨年11月から1巡したが、本年8月以降の改定の影響もあってこれまでの傾向と変わらず96%中心で推移しており、消費の低調さが見受けられる。
- ・バターは12月から製品価格の改定となり、前週との価格差で+5円となったが、前年を上回る結果となっている。今後、さらに価格改定が随時進んでいくと想定され、販売価格や販売個数の動向に注視したい。
- ・節約志向の高まりから家庭内需要が低調に推移しているが、インバウンド需要がそれを下支える構図は今後も続く見込みで、家庭用を中心とした需要拡大対策に業界内外で一体的に推進するとともに、全国でインフルエンザの感染拡大が広がっているなか、免疫力を高めるため牛乳乳製品の摂取による栄養面、機能面の価値訴求を通じた理解醸成活動に引き続き取り組むことが重要となる。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)10月の生乳生産量は、全国597.8千ト(前年同月比96.1%)、北海道342.4千ト(同96.9%)、都府県255.4千ト(同95.1%)。

(2)Jミルク予測値(全国593.7千ト、北海道339.6千ト、都府県254.1千ト)との比較は、北海道、都府県ともにやや上振れとなったことで、全国でも上振れとなった。

(3)直近の指定団体受託乳量速報値は全国が11月中旬で同96.3%、都府県(沖縄除く)が同95.8%、北海道は11月下旬で97.0%となった。

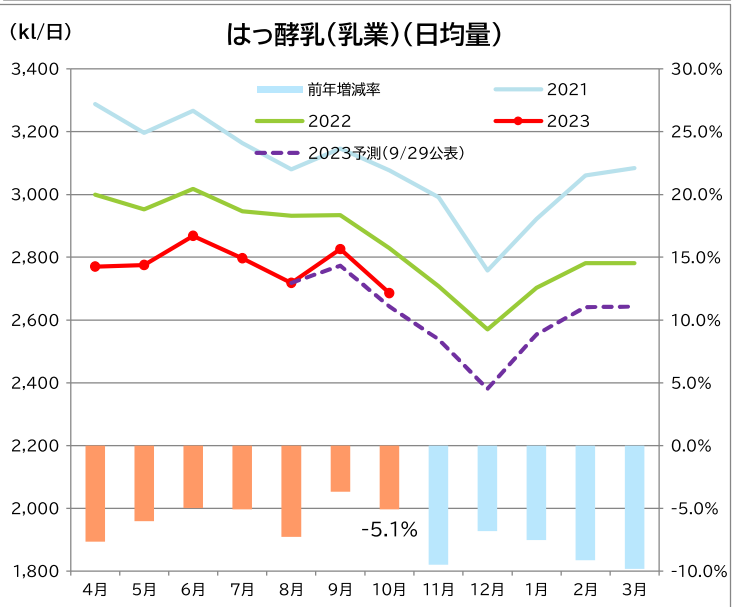
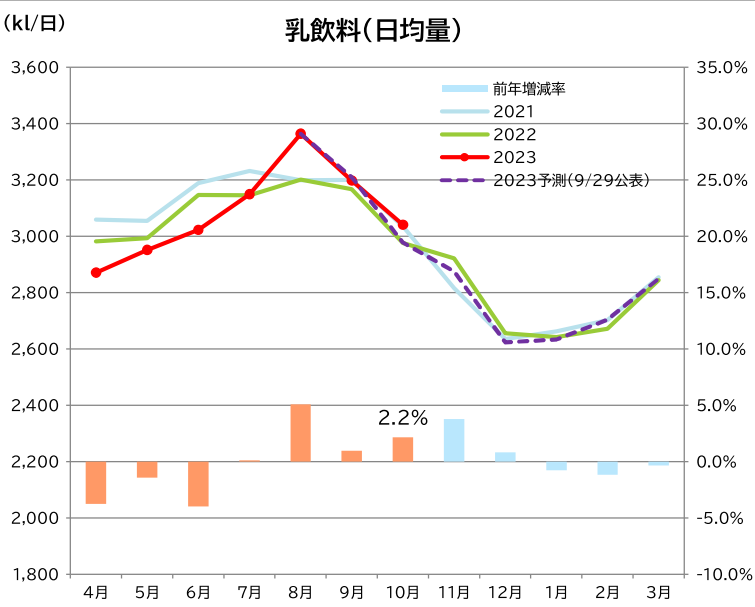
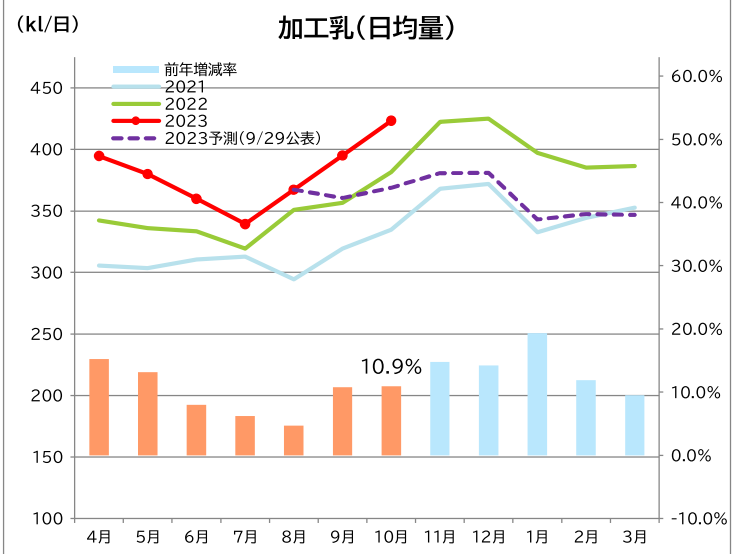
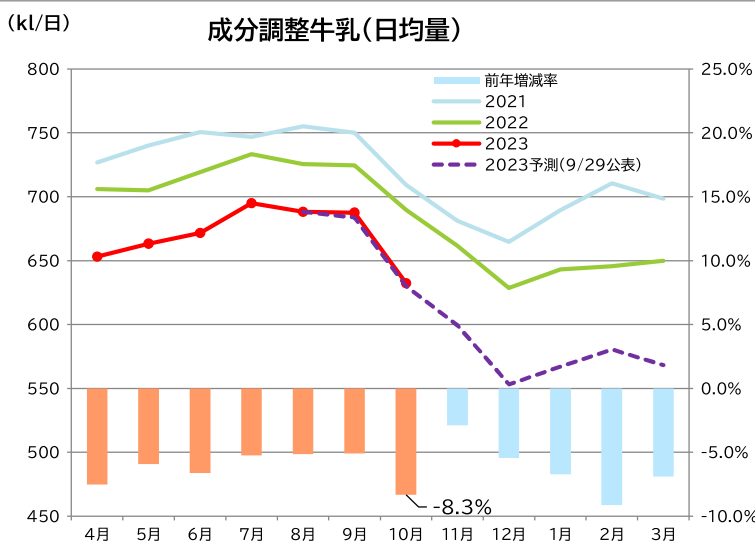
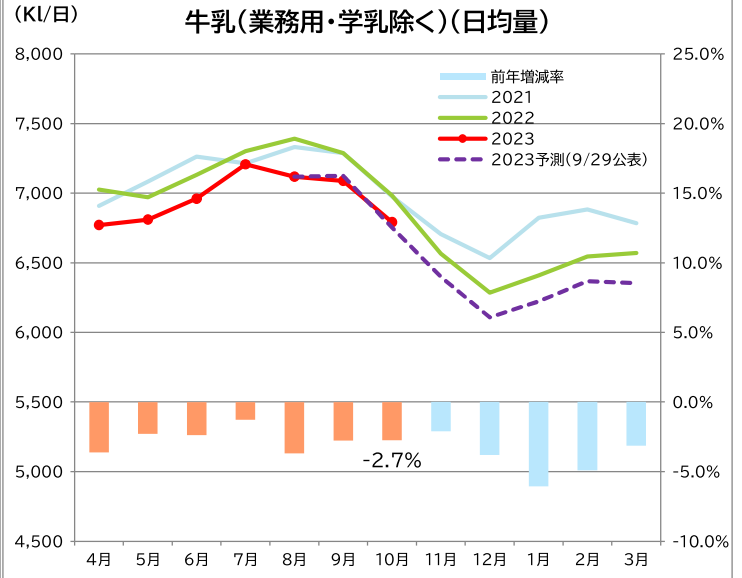
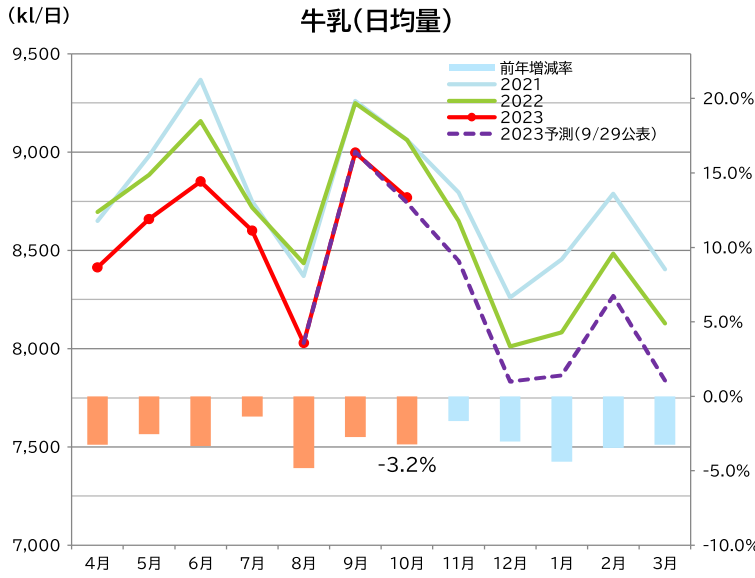


【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)10月の牛乳等生産量は、牛乳271.8千kl(前年同月比96.8%)、成分調整牛乳19.6千kl(同91.7%)、加工乳13.1千kl(同110.9%)、乳飲料94.3千kl(同102.2%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では、398.8千kl(同98.1%)となり、11ヶ月連続で前年を下回っている。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同97.3%、「業務用」は同87.8%、「学乳」は101.0%。

(3)はっ酵乳(乳業)は83.3千kl(同94.9%)と前年を下回って推移している。

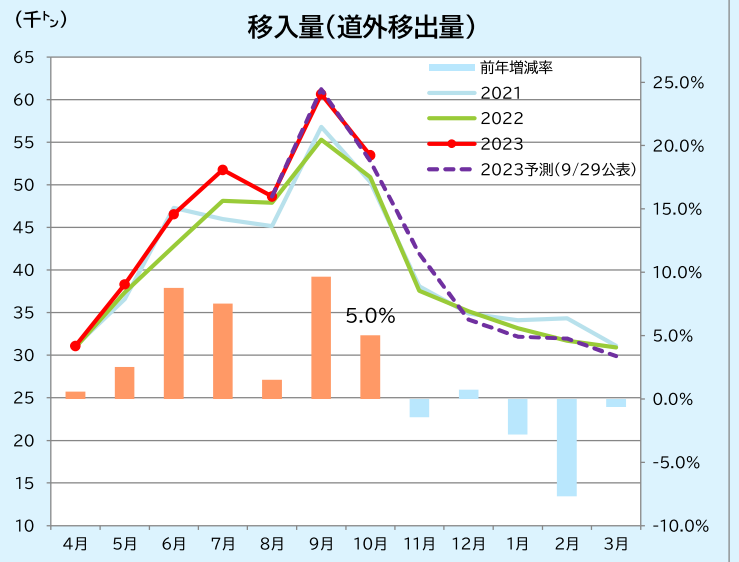
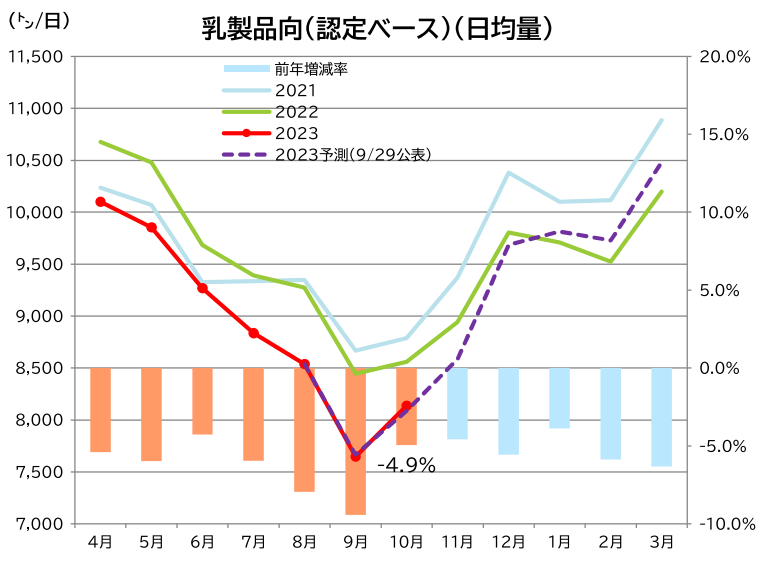
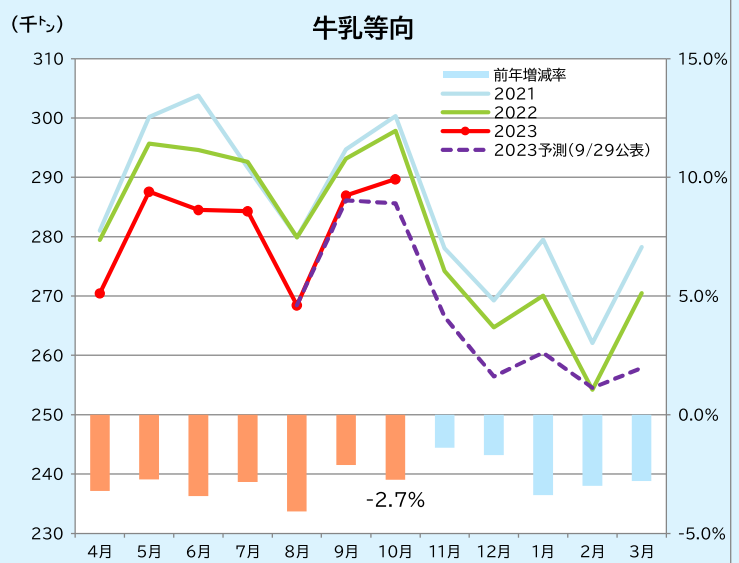
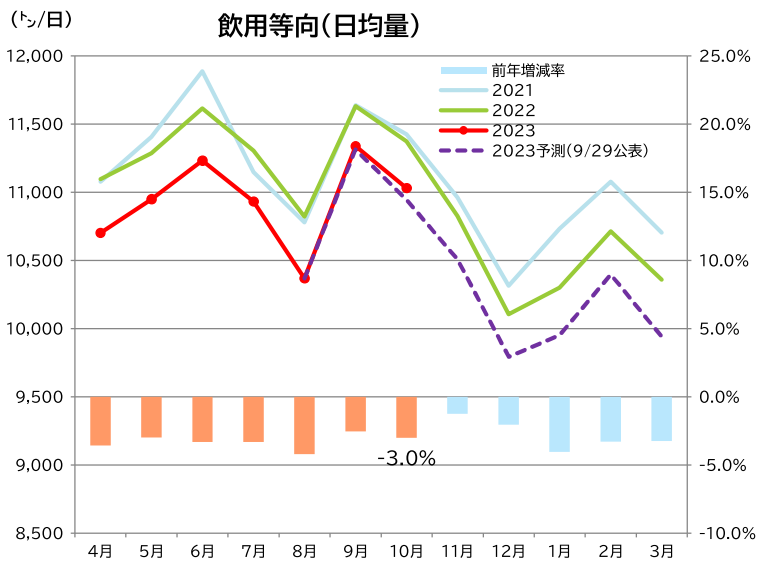
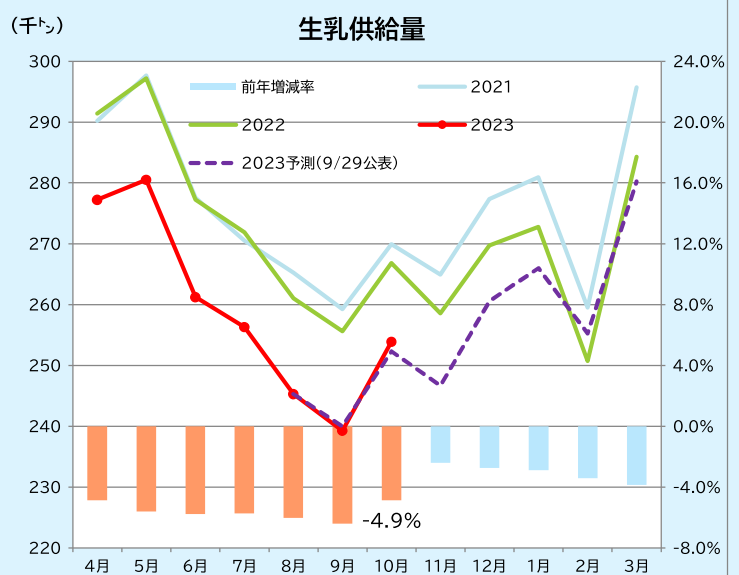
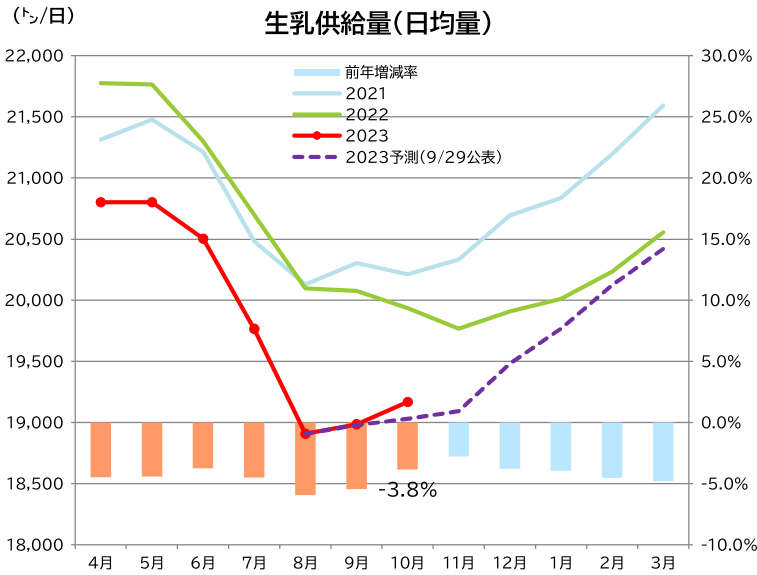


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)10月の生乳供給量は594.2千ト(前年同月比96.2%)、飲用等向342.0千ト(同97.0%)、乳製品向(認定ベース)252.3千ト(同95.1%)。
 (2)飲用等向、生乳供給量ともに前年を下回ったが、生乳供給量の減少量の方が大きく、乳製品向は前年を下回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:589.9千ト)は上振れ、飲用等向(予測値:339.3千ト)はやや上振れし、結果乳製品向(予測値:250.7千ト)はわずかに上振れとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)10月は、生乳供給量253.9千ト(前年同月比95.1%)、牛乳等向289.7千ト(同97.3%)。
 (2)北海道からの移入量については、53.5千ト(同105.0%)と前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:252.3千ト)はやや上振れ、牛乳等向(予測値:285.6千ト)は上振れした結果、北海道からの移入量(予測値:52.7千ト)わずかに上振れとなった。



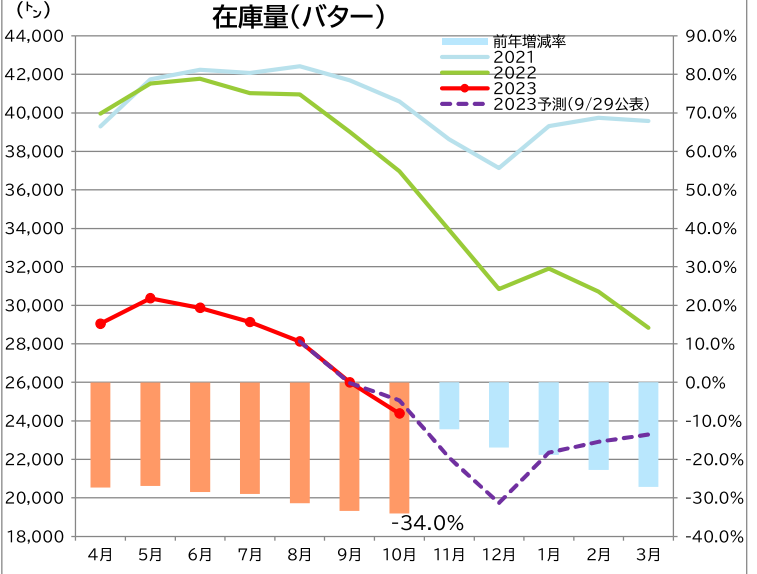
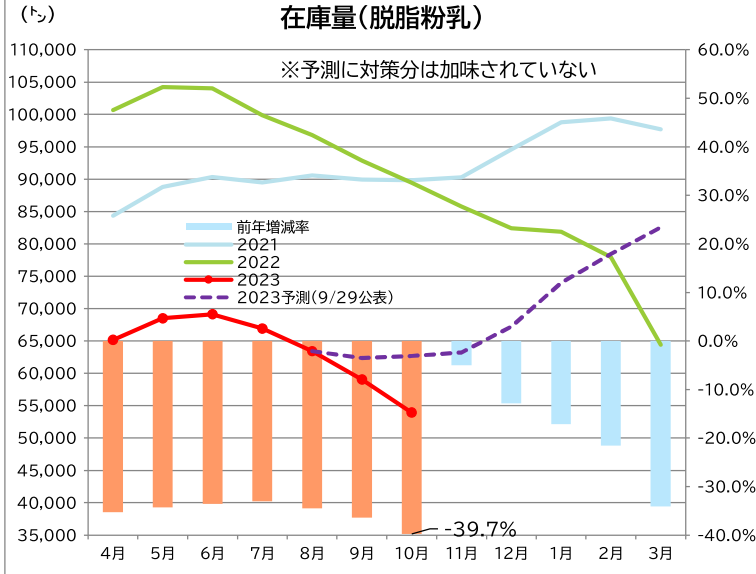
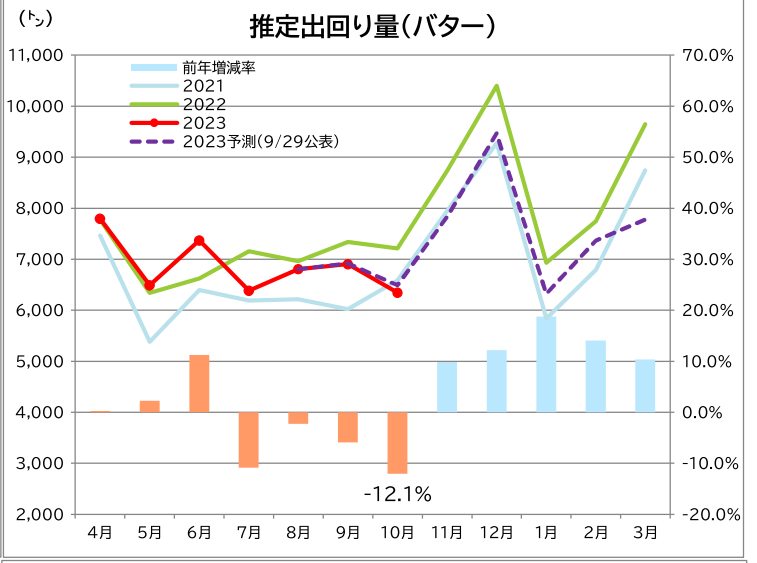
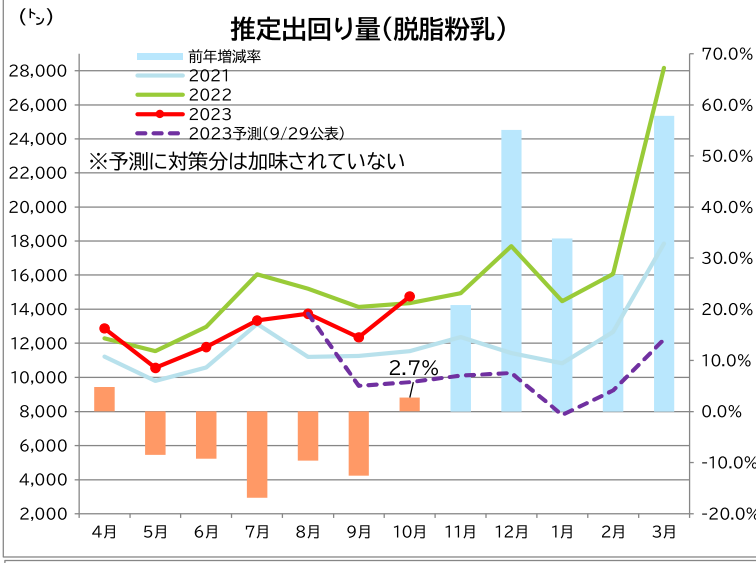
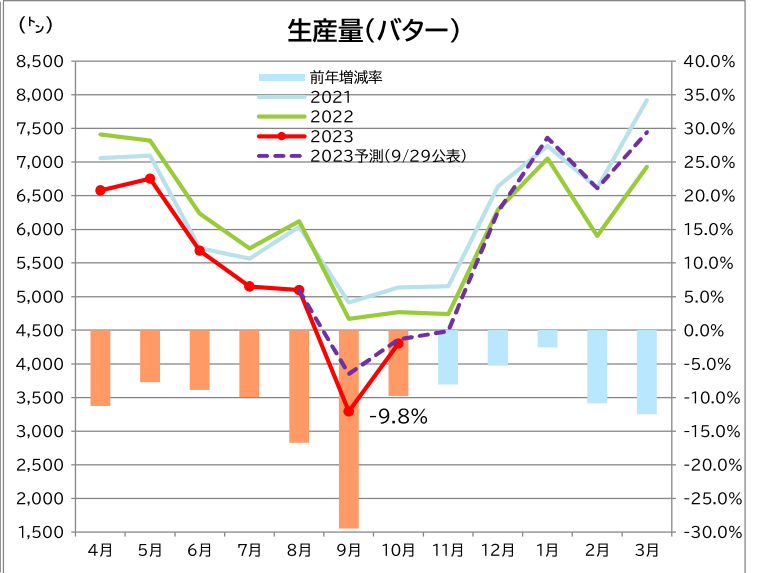
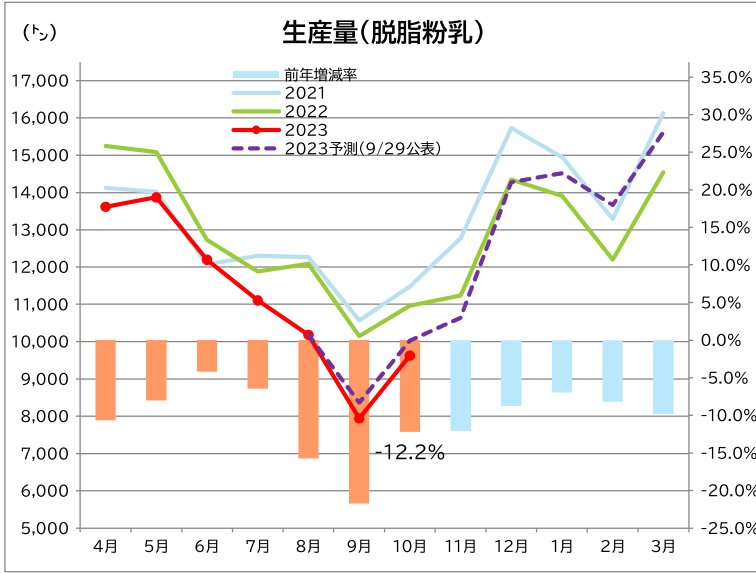
【脱脂粉乳・バターの需給】

(1)脱脂粉乳について、10月の生産量は9.6千トン(前年同月比87.8%)、推定出回り量は14.8千トン(同102.7%)となった。出回り量の方が生産量を上回ったことで、在庫は前月よりも5.1千トン程度減少し、結果在庫量は53.9千トン(同60.3%)となった。在庫量は生産抑制の効果に加えて、夏場の暑さによる生乳生産量の減少や在庫対策による削減効果があり、前月に2018年11月以来、約5年振りに5万トンとなったが、2ヶ月連続で維持している。

※なお、推定出回り量の実績には在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。

(2)バターについて、10月の生産量は4.3千トン(同90.2%)、推定出回り量は6.3千トン(同87.9%)となった。国家貿易による輸入売渡分(約0.4千トン(10月))を考慮しても、出回り量が生産量を回っていることから、在庫量は24.4千トン(同66.0%)と前月よりも1.6千トン減少した。在庫量は18ヶ月連続で前年を下回っている。

▶脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、冬期に向けて飲用需要が減少、生産量が増加することにより脱バ等の仕向量は増加する。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図るとともに、全国協調の在庫削減対策による国産脱脂粉乳の国内需要拡大や輸出など、引き続き最大限取り進める必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)11月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比96.4%、成分調整牛乳:同81.9%、加工乳:同102.7%、乳飲料:同100.1%。牛乳類全体:同96.0%

【参考】2021年11月比…牛乳:93.8%、成分調整牛乳:78.3%、加工乳:102.1%、乳飲料:104.4%(牛乳類トータル:94.3%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(11/27週)の販売個数は、牛乳:前年同期比96.8%、成分調整牛乳:同82.4%、加工乳:同100.7%、乳飲料:同97.2%。

牛乳類トータルでは同95.9%

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

単位:千個、円

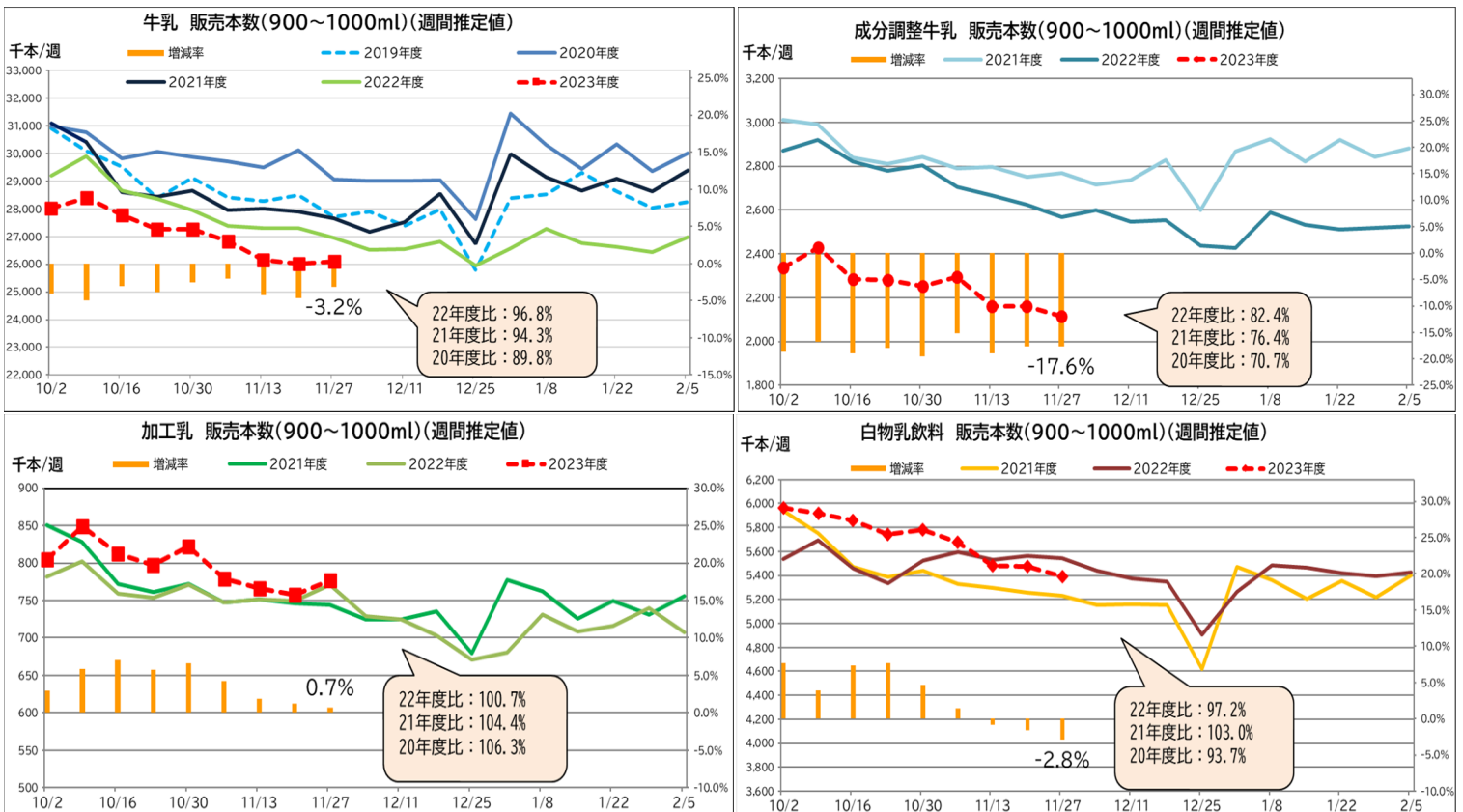
| 品目 | 区分 | 2023/6- | 2023/7- | 2023/8- | 2023/9- | 2023/10- | 2023/11- | 2022/10- 2023/11価格差 | 2023/3- 2023/11価格差 | 2023/7- 2023/11価格差 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | 販売個数 | 162,636 | 177,890 | 177,435 | 170,560 | 164,015 | 149,307 | | |
| トータル | 販売個数前年比 | 95.1 | 95.5 | 94.8 | 97.1 | 95.8 | 96.0 | 33.6 | 18.4 | 16.7 |
| | 販売単価 | 199.9 | 200.0 | 215.3 | 217.1 | 216.7 | 216.7 | | | |
| 牛乳 | 販売個数 | 124,652 | 136,383 | 135,045 | 128,885 | 123,887 | 112,818 | | | |
| | 販売個数前年比 | 96.0 | 95.9 | 94.2 | 96.5 | 95.1 | 96.4 | 36.1 | 19.8 | 19.0 |
| 成分調整牛乳 | 販売個数 | 10,949 | 11,921 | 11,435 | 10,849 | 10,356 | 9,387 | | | |
| | 販売個数前年比 | 84.4 | 86.7 | 83.8 | 81.9 | 80.9 | 81.9 | 35.8 | 20.2 | 16.8 |
| 加工乳 | 販売個数 | 3,187 | 3,507 | 3,559 | 3,597 | 3,657 | 3,303 | | | |
| | 販売個数前年比 | 89.9 | 92.7 | 94.5 | 100.0 | 105.2 | 102.7 | 27.3 | 17.5 | 6.6 |
| 乳飲料 | 販売個数 | 23,848 | 26,079 | 27,397 | 27,228 | 26,114 | 23,800 | | | |
| | 販売個数前年比 | 96.8 | 98.2 | 104.3 | 108.0 | 105.9 | 100.1 | 23.9 | 13.3 | 9.8 |
| | 販売単価 | 164.1 | 163.8 | 172.9 | 173.8 | 173.6 | 173.6 | | | |

速報値

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

| 品目 | 区分 | 10.9- | 10.16- | 10.23- | 10.30- | 11.6- | 11.13- | 11.20- | 11.27- | 23.11.27- 22.10.24 価格差 | 23.11.27- 23.3.20 価格差 | 23.11.27- 23.7.24 価格差 |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 販売個数 | 37,606 | 36,723 | 36,094 | 36,121 | 35,572 | 34,570 | 34,426 | 34,377 | | |
| トータル | 販売個数前年比 | 95.6 | 97.4 | 96.9 | 97.5 | 97.6 | 95.3 | 95.0 | 95.9 | 33.0 | 18.1 | 15.8 |
| | 販売単価 | 216.5 | 216.7 | 216.6 | 216.7 | 216.8 | 216.6 | 216.5 | 216.3 | | | |
| 牛乳 | 販売個数 | 28,410 | 27,766 | 27,271 | 27,266 | 26,821 | 26,160 | 26,031 | 26,093 | | | |
| | 販売個数前年比 | 95.0 | 96.9 | 96.1 | 97.5 | 97.9 | 95.8 | 95.4 | 96.8 | 35.4 | 19.1 | 17.9 |
| 成分調整牛乳 | 販売個数 | 2,430 | 2,284 | 2,281 | 2,253 | 2,295 | 2,161 | 2,160 | 2,116 | | | |
| | 販売個数前年比 | 83.2 | 81.0 | 82.1 | 80.4 | 84.8 | 81.0 | 82.3 | 82.4 | 34.9 | 20.1 | 15.6 |
| 加工乳 | 販売個数 | 849 | 812 | 797 | 822 | 779 | 766 | 758 | 777 | | | |
| | 販売個数前年比 | 105.9 | 106.9 | 105.7 | 106.5 | 104.2 | 101.9 | 101.2 | 100.7 | 24.5 | 14.1 | 3.5 |
| 乳飲料 | 販売個数 | 5,917 | 5,861 | 5,745 | 5,781 | 5,678 | 5,482 | 5,476 | 5,392 | | | |
| | 販売個数前年比 | 103.9 | 107.3 | 107.7 | 104.6 | 101.4 | 99.1 | 98.4 | 97.2 | 23.6 | 13.8 | 9.2 |
| | 販売単価 | 173.4 | 173.8 | 173.4 | 173.7 | 173.7 | 173.7 | 173.3 | 173.5 | | | |

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表⑤参照)

直近(11/27週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について、前週(11/20週)と比較して、ドリンクタイプ、大容量タイプは増加、個食タイプは減少した。はっ酵乳全体としては引き続き前年を下回る推移となっている。大容量タイプは8月の製品価格改定により、ヨーグルト類で最も販売単価の上げ幅が大きくなっている。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

単位:千個

| 品目 | 10.9- | 10.16- | 10.23- | 10.30- | 11.6- | 11.13- | 11.20- | 11.27- |
|---------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| ドリンクタイプ | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👇 | 👉 | 👉 |
| 個食タイプ | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 |
| 大容量タイプ | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 | 👉 |

- 👇 : 前年比90%未満
- 👉 : 前年比105%以上110%未満
- 👉 : 前年比90%以上100%未満
- 👆 : 前年比110%以上120%未満
- 👉 : 前年比100%以上105%未満
- 👆 : 前年比120%以上

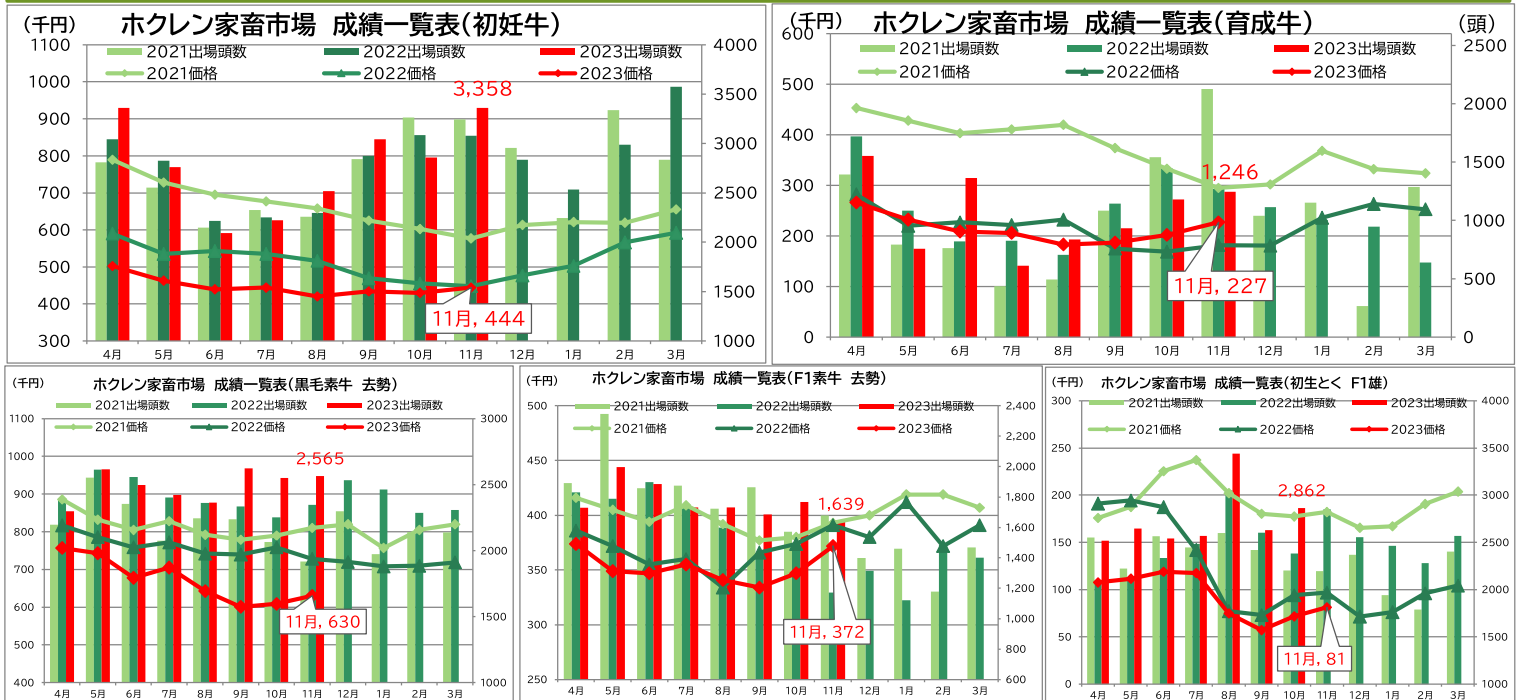
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)11月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は444千円(前年同期比99.1%)、育成牛価格は227千円(同124.7%)、和牛素牛(去勢)価格は630千円(同86.5%)、F1素牛(去勢)価格は372千円(同95.1%)、F1初生(雄)価格は81千円(同84.0%)。初妊牛7ヶ月連続で40万円台となった。F1初生(雄)は4ヶ月連続で10万円を下回った。ホル初生(雄)価格は54千円(同249.4%)となった(グラフ無し)。

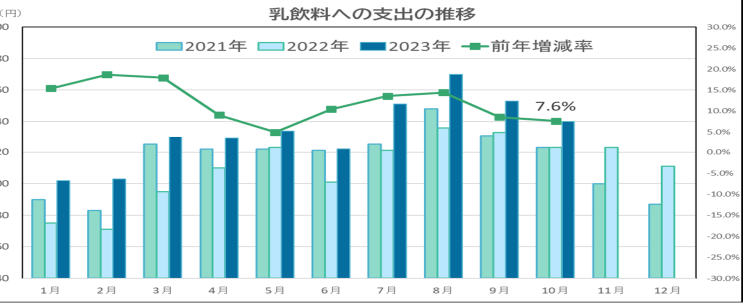
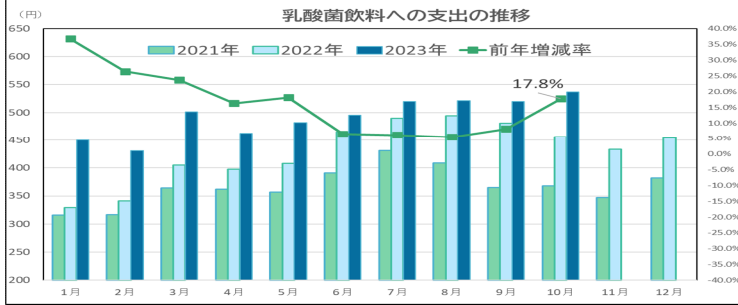
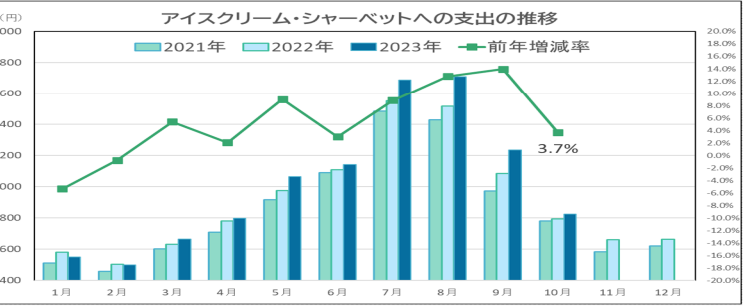
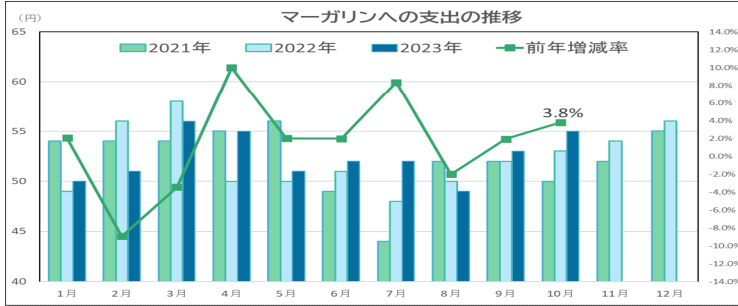
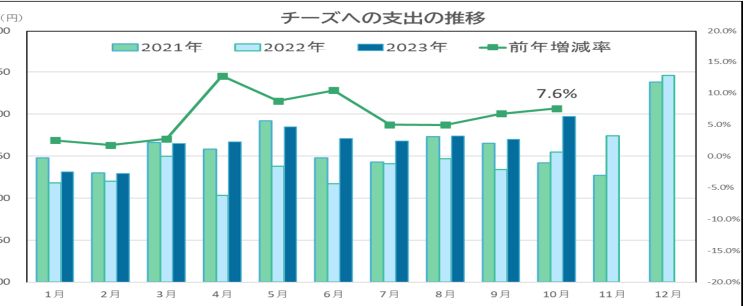
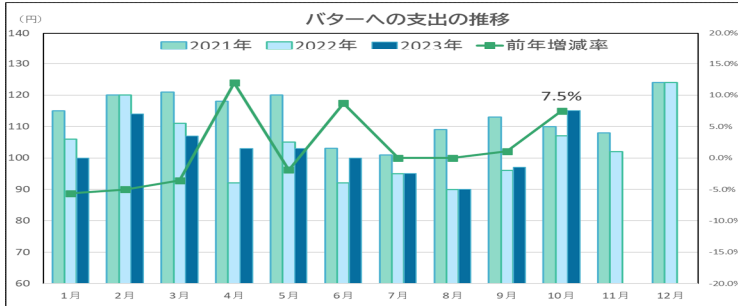
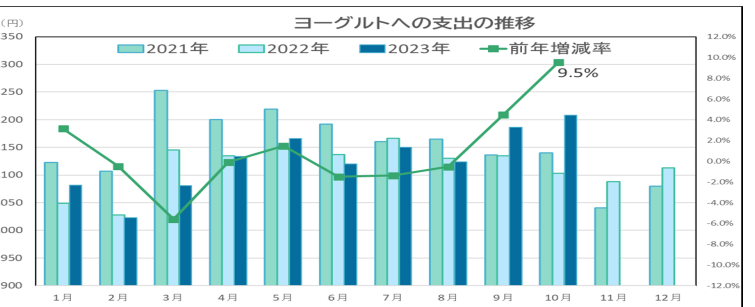
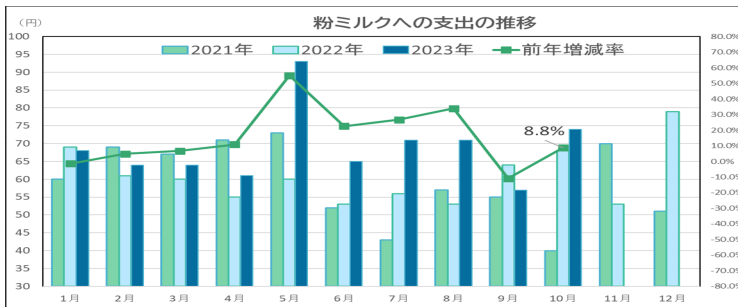
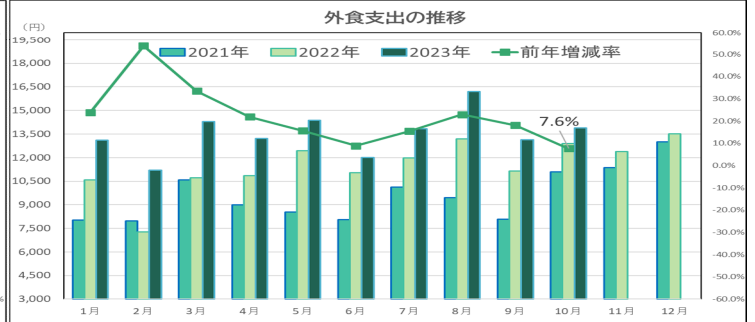
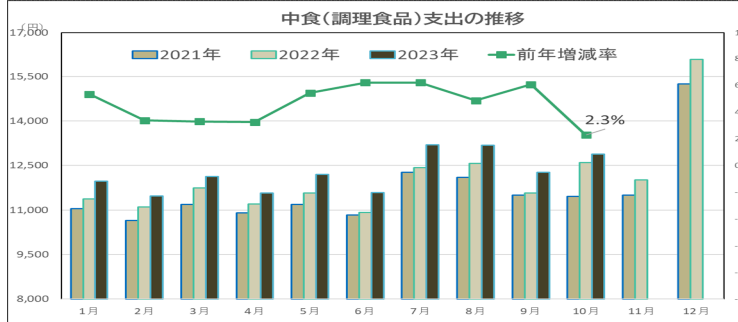
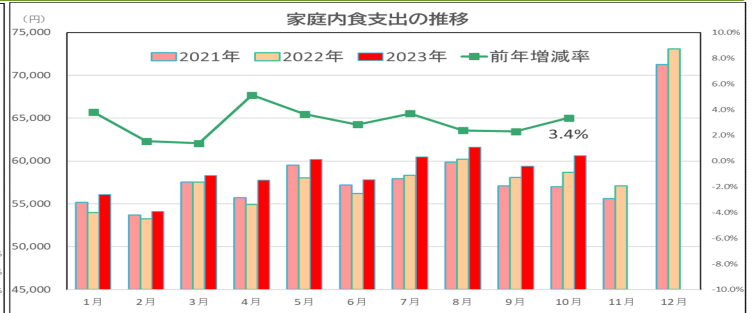
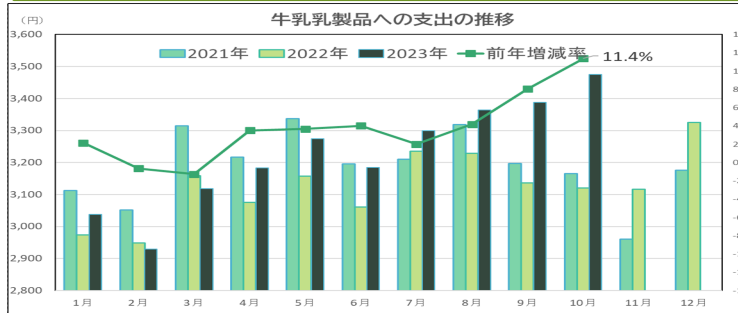
(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同109.1%、育成牛:同98.1%、和牛素牛(去勢):同109.3%、F1素牛(去勢):同139.8%、F1初生(雄):同120.2%。

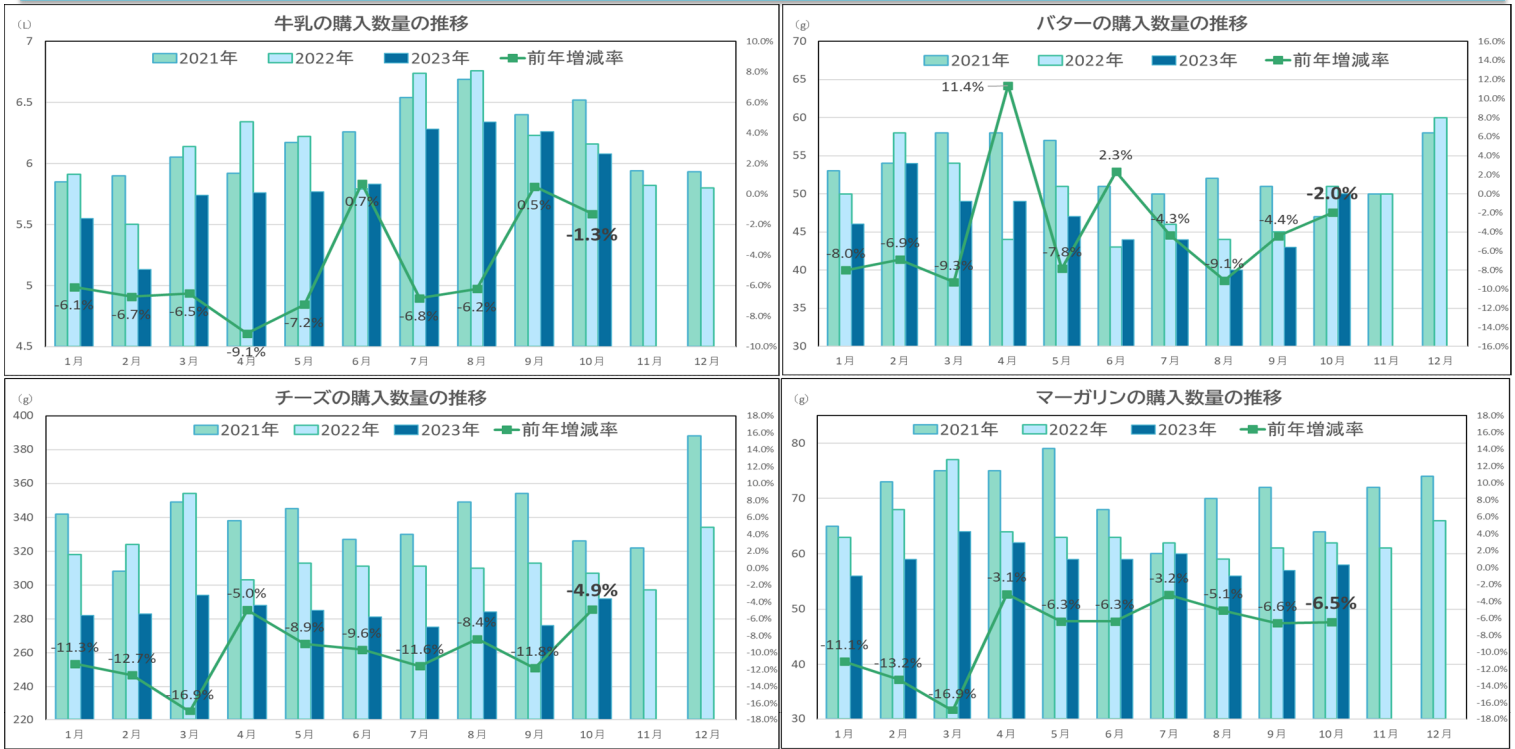
※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



【家計支出の動向】

- (1)10月の支出額前年比について、外食107.6%、中食102.3%、内食103.4%と前年を上回り、食料全体への支出額は103.8%となった。
 - (2)牛乳乳製品の支出額については、前年を大きく上回った。(牛乳乳製品全体前年比:111.4%、(うち牛乳115.1%、乳製品109.0%))
 - (3)なお、購入量は、牛乳98.7%(1世帯当たり6.08L)と再び前年を下回った。バター、チーズ、マーガリンについても前年を下回り、特にチーズの減少率が大きい。
- ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)





【乳製品輸出価格の動向】

(1) 直近の乳製品国際相場について(11月下旬)

- ・欧州: 脱脂粉乳2,900ドル/ト、バター5,750ドル/ト中心
- ・オセアニア: 脱脂粉乳2,650ドル/ト、バター4,900ドル/ト、チェダーチーズは3,750ドル/ト中心

※出典: 米国農務省 (USDA)

